

# 競技注意事項

## 1.規則について

- ・本大会は 2021 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項・競技注意事項により実施する。

## 2.メンバーエントリーについて

- ・大会 5 日前の 2021 年 6 月 22 日(火)15:00 までに**必着**で本連盟まで提出すること。
- ・提出の際は、本連盟に郵送または FAX で送付し、Excel データを本連盟メールアドレスに送信すること。
- ・留学生はエントリーが 2 名以内、出場が 1 名以内とする。

## 3.ナンバーカードについて

- ・ナンバーカードは本連盟が大会当日学校別に配布するナンバーカードを使用すること。
- ・ナンバーカードは胸背部に確実につけること。
- ・写真判定装置を使用するため、腰ナンバーカードを両腰に数字が見えるようにつけること。腰ナンバーカードは使い捨てのものを使用するためフィニッシュ後、係員に返却する必要はない。※競技規則第 143 条 7・8・9 項を参照のこと

## 4.学校受付について

- ・学校受付は 10:00 から 12:00 までテクニカルインフォメーションセンターで実施する。このとき、出場選手全員の健康に関する申立書を提出すること。
- ・プログラムを各チーム 2 部配布する。
- ・学校別にナンバーカードを配布する。

## 5.練習について

### (1)密集・密接の回避

ウォーミングアップやクールダウン、練習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別に行うこと。

### (2)競技前練習について

- ・競技開始前のウォームアップやクールダウンは、7,8 レーンを使用すること。また、本部前の通行は禁止とする。
- ・本競技場内の利用は 9 時以降とする。

## 6.競技場使用上の注意

- (1) シャワールームの使用を禁止する。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、スタンドでの部旗・横断幕の掲出は禁止する。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、選手、審判・補助員、マネージャー、指導者・コーチ以外のメインスタンドへの立ち入りを禁止する。
- (4) 大会当日中の待機場所においてはマスク着用の徹底、密集しないよう、各大学の責任において感染予防対策をとること。なお弓道場を更衣室として開放するが、弓道場の使用人数が多い場合は

密を回避する点で、声をかける場合がある。また、雨天時のみ弓道場を待機場所としての使用を認める。

- (5) シート固定等で、競技場内においてテープ類(ガムテープ、養生テープ等)を使用することは認めない。紐やスズランテープの使用は許可する。
- (6) 当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、同校の競技の出場を認めない場合がある。
- (7) 競技場内において競技者は助力とみなされるビデオ、カセットリコーダー、ラジオ、CD・MD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォンもしくはそれに類似するものの使用・所持を禁止する。勧告を受け入れられない場合は失格となる。なお、その他競技者に対する助力については競技規則第144条を適用する。
- (8) 医務室は競技場内に設ける。なお、大会当日中において起こった怪我に対しては主催者側が応急手当を行うが、それ以降の治療に関しては一切責任を負わない。ただし、出場者は原則として、スポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。必ず保険証のコピーを持参すること。なお、新型コロナウイルス感染症はスポーツ安全保険の適用対象外である。
- (9) 乗用車で来る場合は、阿蘇市農村公園あびか陸上競技場の駐車場に駐車すること。
- (10) 貴重品の管理は各個人で責任を持って行うこと。盗難・紛失について主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合は、テクニカルインフォメーションセンターにて一時保管をする。
- (11) ゴミは各個人が責任を持って持ち帰ること。
- (12) 競技場内でのすべての電源の使用を禁止する。
- (13) 開閉門時間は以下の通りである。ただし、予告なく変更する場合がある。開門前、閉門後に許可なく競技場内、スタンド内に侵入している競技者を発見した場合、厳重に注意し、その競技者の以降の出場を認めない場合がある。

期日	開門時間	閉門時間
6月27日(日)	9:00	16:00

## 7.招集について

・招集の方法について

- ① 招集所は、第3コーナー外側に設置する。
- ② 招集完了時刻までに、招集所にて一次コールを受けること。その際、スパイク及びバック等の商標、シューズ、ナンバーカードをチェックする。また、代理招集は認めない。  
※シューズに関しては、競技注意事項別記の「靴底の厚さに関するルール改定」を必ず確認すること。
- ③ 競技開始10分前にスタート地点で最終コールを行う。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場を認めないので十分注意すること。

招集開始時刻及び完了時刻は以下の通りとする。

	男子1組目	男子2組目	男子3組目	男子4組目
招集開始時刻	12:30	12:55	13:20	13:45
招集完了時刻	12:45	13:10	13:35	14:00
競技開始時刻	13:00	13:25	13:50	14:15

## 8.競技について

- ・ユニフォームは各大学で統一して競技に臨むこと。
  - ※ユニフォームに関しては2015年4月1日より規定が変わったので注意すること。
  - 陸上競技ルールブック「競技会における広告および展示物に関する規定」4.1.3.7を参照すること。
- ・メンバーエントリーされた参加者のうち完走者が8名に満たない場合は、選考会失格とする。
- ・当日の状況を見て、インレーン、アウトレーンへの振り分けを行う。役員の指示に従うこと。
- ・ゴールする選手に関してゴール手前約50m地点にコーンを設置するので、選手はその外側を走りゴールすること。

## 9.欠場について

- ・大会当日の欠場は、学校受付時に欠場届を提出すること。また、責任者の印鑑を持参すること。
- ・欠場者が出た場合のメンバー変更については、メンバーが8名以下になった場合のみ、チームエントリーされた選手からの変更を認める。

## 10.応援について

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、声を出しての応援および周回のラップタイムの読み上げを固く禁止する。

## 11.代表校の選出方法について

- ・下記の要領で順位を決定し、男子は上位1校の大学を秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会の代表校とする。
  - ① 選考会参加校のメンバーエントリーに記載された参加者の中から、上位8名合計タイムで決定する。
  - ② 8名の合計タイムが同じ場合は、8名の順位の合計が少ない大学を上位とする。
  - ③ 8名の順位の合計も同じ場合は、最上位の選手の順位が上の大学を上位とする。ただし、選出された代表校が不出場の意思を表示した場合、次の順位の大学を繰り上げることにする。

## 12.成績発表について

- ・成績については、アナウンスで発表する。その後、本連盟HPに掲載する。
- ・成績発表前における成績に関する問い合わせには一切応じない。

## 13.用器具について

- ・用器具は原則競技場備え付けのものを使用する。ただし、使用の際の破損などによる事故発生の場合、使用した当該競技者が責務を負うものとする。この場合、主催者はその責務を負わない。

## 14.抗議について

- ・抗議は日本陸上競技連盟競技規則第146条に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に競技者自身、または代理人が口頭で審判長に申し出なければならない。
- ・審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(¥10000)を添

えて、上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合、没収される。

#### 15.給水について

・給水は気象条件により行う場合がある。(行う場合はバックストレート4レーンより外側)

#### 16.その他

- (1) 荷物は各大学で責任をもって管理し、貴重品の管理は各大学及び各個人で責任をもって行うこと。  
万が一盗難・紛失が発生しても本連盟は一切責任を負わない。届け出があったものについては、学連本部にて一時保管する。保管期間は1週間とし、保管期間を過ぎたものは処分する。
  - (2) **競技場内でのテントの設置は競技進行の妨げとなるため禁止する。**
  - (3) 競技場内での写真、ビデオの撮影については選手のプライバシー及び肖像権を保護するため大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合は速やかに許可証を提示すること。また、許可なく撮影している者を発見し次第、厳重に処分する。
  - (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、練習及び招集、競技中など本大会に関わるすべての行為について、競技者への付き添いを禁止する。
  - (5) 主催者は、個人情報保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラム編成および作成、記録公表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
  - (6) 記録証明書を希望する競技者は、300円を添えて大会本部まで申し込むこと。
  - (7) 加盟校は学生審判補助員を派遣しなければならない。
  - (8) その他、不明な点は、大会本部に問い合わせること。
- \* 以上の内容以外でも、特別に役員から指示があった場合は必ず従わなければならない。

(別記)

**競技注意事項**  
**靴底の厚さに関するルール改定**

WA のルール改定に伴い、本連盟主催競技会についても以下に示す基準を満たしていないシューズを身に着ける競技者の出場を認めない。

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i)、(ii)、(iii)及び TR5.5 の図(a)並びに(b) TR5.13.3に基づく)	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。

TR5.13 注意

- (i) 規則 143 条(TR5)13(a)の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく(例: 個々のパーツは互いに上に積み重ねない)、1 つの平面に連続して配置しなければならない。※ 現行のルールブックに掲載の内容と変更なし。